

# いわた IWATA 市議会だより

平成 26 年

2014

9月1日発行

No.47

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
 編集／議会報編集委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845(議会事務局)



## マリンスポーツを通して環境保全

7月19・20日に「磐田市長杯 ビーチクリーンを広めよう Line-up cup 2014」が豊浜海岸ほかで開催されました。当日は、県内外のアマチュア選手が参加したサーフィン大会のほか、ビーチサッカー教室などのイベントが行われました。また、大会開催中に参加者が海岸清掃を行い、マリンスポーツと環境保全への理解を深めました。

## 主な内容

(ページ)

- 市税条例等の一部改正、国保税条例の一部改正(説明、討論)、陳情……………2
- 一般質問(11名)……………3～7
- 議会報告会の開催、審議結果、9月定例会の予定……………8

## 6月定例会

市議会は、平成26年6月定例会を6月13日から7月10日までの28日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の26年度一般会計補正予算や議員提出の国保税条例の一部改正など14議案のほか、意見書等について慎重に審議しました。その結果、国保税条例の一部改正は否決、そのほかはいずれも原案のとおり可決・同意しました。また、議会推薦の農業委員会委員等を決定しました。

なお、一般質問は、6月20日、23日の2日間にわたり11名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたずねました。

### 市税条例等の一部改正を可決

これは、地方税法の一部改正に伴い、市税条例等の一部を改正するものです。

主な内容は、①市民税では、個人市民税の優良住宅地造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例の期限延長や、法人市民税法人税割の税率引き下げ②固定資産税では、公害防止用設備等の償却資産に対する課税標準の特例割合など③軽自動車税では、税率の引き上げや、三輪以上の車両の一部に税率の特例などを規定するものです。

### 討論

**強いられる二重の負担  
税源保障と財政調整の強化を**

**反対(共)** 今回、自動車取得税を減税・廃止し、そのツケを軽自動車税の増税で賄うことは、消費税増税に加えて二重の負担を押しつけるものである。また、法人住民税法人税割の税率が引き下げられ

### 国民健康保険条例の一部改正を否決(議員提出議案)

本議案は、議員より提出されたもので、国保税の基礎課税額にかかる均等割額を、現行の1万9800円から1万4800円に引き下げようとするものです。

提出者からは、高すぎる国保税を引き下げてほしいとの市民要望を受け、減額するものである。1人当たり5千円減額の影響額は約2億円で、本市の国保財政からすれば可能と考える、との説明がありました。

### 討論

**市民の立場に立った  
国保税の引き下げを**

**賛成(共)** この議案は、高額で払うのが大変な国民健康保険税を引き下げてほしいという、市民の切実な要求を実現するためのものである。

本市の国保会計は、20年度の国保税値上げ以降、赤字会計ではなく、職員の努力もあり、しっかりと運営されてい

### 陳情

市立図書館のAV資料貸し出し限度数に関する陳情

【陳情者】

佐野 光陽さん

本陳情の趣旨は、現行2点が上限である市立図書館の視聴覚資料貸し出し限度数を1点でも引き上げ、豊富な資産をより活用できるようにしてほしいというものです。

所管の民生教育委員会が慎重に審査した結果、「陳情に至る経過から、当局の対応が十分ではなかったのでは」「直接話し合いをすればお互い理解できたのでは」「限られたAV資料をみんなで共有するには現況の2点が適当である」等の意見があり、採決の結果「不採択とすべきもの」と決定。7月10日の全員協議会においても賛成者はなく、「不採択」と決定しました。



— 市政を問う —  
**一般質問(要旨)**

**津波・地震・防災対策  
市街地の活性化**

志政会 岡 實 議員 (一問一答)

**津波対策**

**質問** 防潮堤建設に関する状況と建設残土等の活用は。

**答弁** レベル2の南海トラフの津波に対応した防潮堤を、高さは14m、事業費約30億円、工事期間約20年を目標に計画し、まずは竜洋海洋公園と太田川右岸の河口部に、この夏にも工事着手できるような作業している。太田川のしゅんせつ土の活用を考えているが、安定確保等が課題である。



アルや市ホームページへの掲載、自治会連合会の会議、防災訓練等で周知していく。

**市街地の活性化**

**質問** 商工会議所が設置したJR磐田駅周辺賑わいしかけ特別委員会へのかかわりは。

が出席し、官民一体となって活性化策を検討していきたい。  
**質問** 中心市街地活性化策の考え方は。

**答弁** 空き店舗対策事業の見直し、個人商店への誘客事業のさらなる充実、商店主や住民のニーズ把握などを中心に取り組んでいきたい。

**質問** 周辺市街地活性化の取り組みは。

**答弁** 市内全域の企業等から情報収集しニーズの把握に努めており、新たな活性化策を商業者や各種団体と一緒に検討している。今後は福田漁港周辺での食の拠点整備を推進するとともに、市内各地域で商工業団体や企業等が取り組む事業に支援をしたい。

**食の拠点づくり／東京オリンピック  
国家戦略特区**

きずなの会 太田佳孝 議員 (一問一答)

**食の拠点づくり**

**質問** 津波避難タワー兼風力発電施設の設計、建設の具体的な発注企業名を伺う。

**答弁** 国の補助制度の創設が遅れたことから、現段階では発注していない。

**質問** 施設の管理や運営の事

**業主体の受託企業を伺う。**

**答弁** 遠州漁業協同組合を中心とした地元関係者を想定している。

**質問** 農産物と海産物のコラボにより、農家レストランの併設等、オール磐田産品の発信拠点としての考えを伺う。

**初めての議員間討議を行いました**

本定例会の民生教育委員会における発議案・陳情審査で、議会基本条例に基づき、本市議会初めての議員間討議を行いました。

議員間討議とは、議員相互間の議論を活発に行うことにより、合意形成に努め、政策立案等を行うことを目的としたものです。

当日は、質疑終了後に討議が行われ、各委員から論点や課題等について多くの意見が交わされました。

**答弁** 場所や資金等の制約がある中で、すべてのものを網羅することはできないが、地域の方々がチャレンジできる場所として活用していただき、市域を超える広域的な発信拠点にできればと思っている。

**東京オリンピック**

**質問** 本市がキャンプ地として招致していく競技の見解を。

**答弁** サッカーやラグビーといった屋外競技をはじめ、アマチュアズ豊田アリーナなどを生かした屋内競技まで対応は可



能と考えている。

**国家戦略特区**

**質問** 4月の有効求人倍率が0.79倍の本市に、産業構造の転換や発展・成長に不可欠な国家戦略特区の具体的な構想はあるのか。また、構想を実行・実現する考えはあるか。

**答弁** 具体的構想は今のところない。雇用状況の改善が重要だと認識しているので、特区にこだわらず、まずは地域経済を支える産業を活性化し、新たな雇用につなげていくため、6次産業化の推進等の事業を着実に進めたい。遠州豊田PA南の構想には、農家レストラン等のイメージも入っており、これから伸びしろが大きいのは農だと思っている。

### 教育問題 防災・安全対策

志政会 高田正人 議員（一括質問）

#### 教育

**質問** 小中学生のインターネット・スマートフォン・携帯電話依存の課題と対策は。

**答弁** 依存傾向はさらに強まると危惧される。学校では正しい使い方を継続的に指導し、家庭にも利用時間等の注意を呼びかける。

**質問** 学校給食での米飯回数が増と米粉の利用を伺う。

**答弁** 米飯は週3回の実施に加え、学期に2回ずつ増やしており、米粉パンは年3回程度提供している。これらの回数は、今後検討していく。

**質問** 図書館の市民利用状況と電子図書への対応は。

**答弁** 貸し出し数は県内23市中2位で利用は活発である。市の地域資料を電子書籍化し、27年度以降インターネットで公開する準備を進めている。

#### 防災・安全

**質問** 市内の防災士取得者数は。また、防災士を増やすべきと考えるが見解を。

**答弁** 県の防災士制度の登録

者は23名と把握している。防災力の向上には市民の防災意識向上が必要であり、制度の啓発等をしていきたい。

**質問** 住宅用火災警報器の設置状況と推進、高齢者や障が

### 住民の命、暮らしを守る市政 教育の課題／見付美登里土地区画整理

日本共産党磐田市議員 根津康広 議員（二問一答）

#### 住民の命、暮らし

**質問** 安倍政権は、これまでの憲法解釈を変えて、集団的自衛権の行使を認めることに對し、市長は反対の意思表示をすべきと考えるが見解を。

**答弁** 解釈変更でよいのか、国民に分かりやすい説明を期待したい。政権により解釈が変わる可能性があることを拙速にやっていたいとは思わない。

**質問** 浜岡原発31キロ圏内7市町と中部電力との安全協定の協議内容と課題を伺う。

**答弁** 協定書の内容を主に協議している。課題は記載内容

い者宅への取り付け手伝いは。

**答弁** 設置率は75・8％で、県平均を上回り、全国平均を下回る。設置率の低い地域への啓発活動等を積極的にやっていく。高齢者宅等へは消防本部と福祉課が連携し、地域からの要請に対応していく。

**質問** AEDの市内設置状況と操作講習会の状況は。

**答弁** 市内105カ所の公共

#### 教育

の合意形成である。7市町が共同で協定書にサインすることに主力を傾けている。

**質問** 自治体の判断により全国学力テストの結果公表が可能となったが、対応を伺う。

**答弁** 市全体の平均正答数等の公表は前向きに検討するが、すべての学校について一覽で公表すべきではないと考える。

**質問** 教職員の勤務実態と多忙化解消策について伺う。

**答弁** 超過勤務の教員が多く、会議の精選や行事の見直し等に取り組んでいる。

施設に設置しており、民間企業等にも設置が進んでいる。25年度は普通救命講習等を272回開催し、延べ1万1930人が受講した。



普通救命講習

**質問** 生活保護世帯の学習支援事業の現状は。

**答弁** 25年度は県事業に市が協力し、中学生13名が参加した。26年度は市事業で支援教

### 住民参加の推進 中長期課題

新磐田 松野正比呂 議員（二問一答）

#### 住民参加

**質問** 地域自治の行政窓口一本化の考えは。

**答弁** 地区活動拠点の見直しに合わせ、地域づくりを支援できる庁内組織を検討し、わかりやすい行政体系となるよう準備したい。

**質問** 住民参加について基本的な考え方は。

**答弁** 市民、事業者、行政が

室の開設準備を進めている。見付美登里土地区画整理

**質問** 交通渋滞が予想されるが、交通量調査結果の分析と民間開発事業での市の役割は。

**答弁** 施行業者が行った調査に基づく混雑割合の数値は基準を下回り、問題はないと思われる。今後も自治会等を通じて、地域住民の要望を把握したい。市は事業者へ、周辺住民に対し慎重、丁寧に説明責任を果たすよう指導する。



磐田インター線

一体となったオール磐田による総合力ナンバーワンのまちを目指している。行政は情報発信し、参画機会をつくることが必要と考える。

**質問** JR3駅の活用について、市民意見の収集、企画への住民参加を進める考えは。

**答弁** 3駅の利便性を磐田の強みとして生かせるよう、新たな総合計画策定などの段階

で意見収集を行いたい。

中長期課題

【質問】 民生費増加が財政を圧迫するが認識は。医療費等の抑制目標を定めた取り組みは。

【答弁】 扶助費も聖域なく見直し、効率的・効果的な福祉サービスを提供することが課題である。医療費は健康増進に係る目標を、介護費用は事業計画の中で基盤整備・サービ

ス量・介護予防の目標を定め適正化に取り組みたい。

【質問】 29年度以降の総合計画



介護予防(転倒予防教室)

支援したい。

策定の進め方は。

【答弁】 26年度、基礎調査を行う。27年度から審議会に審議

をお願いし、市民の皆さんから意見を伺いながら、計画策定に取り組み予定である。

【質問】 見付や岩井地区の国一パイパス南側の土地利用は。

【答弁】 市街化調整区域プランの面的整備検討地区として位置づけられ、農業調整等多くの課題はあるが、民間の土地区画整理事業等を

磐田市小中一貫教育を問う  
保育と幼児教育、放課後児童クラブ／予防接種

日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員(一問一答)

小中一貫教育

【質問】 新たな展開を検討するための構想の策定とは何か。

【答弁】 施設分離型と施設一体型の効果を検証し、現在の小中一貫教育を一体校で展開した場合の教育効果を含め、中学校区ごとに構想を策定する。

保育・幼児教育・児童クラブ

【質問】 保育園の入所実態と待機児童の現状を伺う。

【答弁】 26年4月現在2424

人が入所し、待機児童は28人で、前年度比14人減である。

【質問】 (仮称) 福田幼保園の保育士と幼稚園教諭の労働

【答弁】 保育士と幼稚園教諭は保育教師に統一される予定で、基本的



(仮称)福田幼保園イメージ図

労働条件や待遇は現在と変わらない。園児募集は10月ごろに実施予定であり、園児数に対応した正規・嘱託・臨時職員を配置していく。

【質問】 放課後児童クラブの実態と指導員の待遇改善を伺う。

【答弁】 26年5月現在、32クラブで989人が利用し、指導員を92人配置している。現状

防災・行政・福祉施策  
環境施策

公明党磐田 鈴木喜文 議員(一問一答)

防災・行政・福祉

【質問】 高知県黒潮町が作成した津波浸水想定域の住民の避難に役立つ個別避難カナルテ作成に向けた取り組みは。

【答弁】 今後、使用状況などを調査し、有効であれば自治会連合会と協議しながら、実用化に向けて検討したい。

【質問】 磐田城山球場のボールハウ

【答弁】 できるだけ簡易に費用を



磐田城山球場

の待遇を変える考えはない。

予防接種

【質問】 補正予算計上の水痘及び成人用肺炎球菌予防接種医師委託料の内容を伺う。

【答弁】 水痘は1歳から2歳、26年度に限り3歳から4歳も対象で、接種回数は2回、自己負担はない。成人用肺炎球菌は26年度から30年度までの

【質問】 市と企業が連携し中間的就労を設け、生活保護オンリーから、就労賃金プラス生活保護となり、自立へとつながっていく取り組みは。

【答弁】 本格的な一般就労の一步手前のならし雇用、いわゆる中間的就労について、今後関係機関と意見交換を行うなど、情報収集に努めていく。

【質問】 認知症患者の適切な治療・ケア対策として、医療・介護関係者が情報共有できるノートの取り組みは。

【答弁】 犬猫の虐待防止や殺処分件数を減らすために有効な制度になると思われるので、先進事例などの情報収集に努めたい。

【質問】 震災時のがれき置場をどのように想定しているか。

【答弁】 25年度に地域包括支援センターが作成した物忘れ相談連絡票の普及を図る中で、使いやすいノートのあり方について研究・検討したい。

環境

【質問】 市域防災計画や環境省の災害廃棄物対策指針を踏まえ、公園やグラウンド、公共施設の跡地など公有地を中心とした利用を想定している。

【質問】 犬猫の殺処分ゼロ実現に向け、ソーシャル・インパクト・ボンドの創設やアニマルポリス導入の検討は。

【答弁】 犬猫の虐待防止や殺処分件数を減らすために有効な制度になると思われるので、先進事例などの情報収集に努めたい。

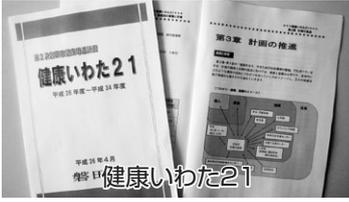
# 「健康いわた21」の推進

志政会 絹村和弘 議員（一括質問）

**【質問】** 第2次健康増進計画「健康いわた21」の大きな統一目標を、65歳から元気で自立して暮らせる期間として県が算出している「お達者度」県内第1位と掲げ、健康づくりを市民活動に高めたいと考えるが、見解を伺う。

**【答弁】** 健康いわた21は、健康寿命の延伸や健康格差の縮小など、5つの基本的項目において34の目標を設定し、各種施策に取り組むものである。この目標の達成が、結果として「お達者度」の向上につながるのと認識しており、現時点で「お達者度」県内第1位を直接的な目標とすることは考えていない。

**【質問】** 行政と地域が協働・連携してキャンペーンを実施し、運動食生活、社会参加等バランスがと



れた生活を推進したらと考える。見解を伺う。

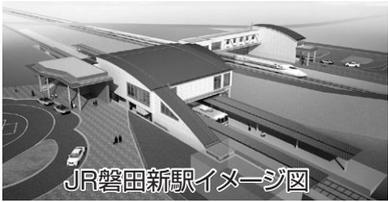
**【答弁】** 各種目標値達成には、健康づくりは自分自身のことという意識が市民に根づくことが必要であり、住民の主体

## JR新駅を起爆剤とした、これからのまちづくり

志政会 草地博昭 議員（二問一答）

**【質問】** 市長の新駅設置に対する思いを率直に伺う。

**【答弁】** 企業やスタジアムの玄関口として、また閑静な住宅街として子育てながら磐田、住んでよかったですと言っていただけ、まちづくりが実現可能になり、事業を1日でも早く着実に進めることが重要だと考えている。



的な行動を後押ししていくことが重要と認識している。今後より一層、地域との協働・連携を進め、健康づくりの意識の醸成に努めたい。

**【質問】** 市民意識の高揚を図るためには、地域別の特定健診受診率や要介護認定率などのデータを積極的に地域へ開示・提供することが望ましいと考える。見解を伺う。

**【質問】** 東海道本線3駅の位置づけと今後の方針は。

**【答弁】** 磐田駅は都市機能が集積する中心的な拠点、豊田町駅は新市街地の拠点と考えている。新駅周辺は市の魅力を向上させる駅になると考えており、緑豊かなゆとりある新市街地と、閑静な住宅地が共存した新駅を核としたまちづくりが進めばよいと考える。

**【質問】** 市民からどんな意見が出ることを想定しているか。

**【答弁】** 地域活性化を期待する一方、新駅の必要性を問う意見もあることは承知している。

**【答弁】** 地区単位の情報提供は住民の関心が高く、地域の課題を身近に感じてもらうための有効なツールになる。今後は地域の課題解決に向けて、地域住民が主体となった活動が実践できるよう、地区別高齢化率や出生数のグラフ、特定健診や医療費の動向など必要な情報を積極的に提示・提供していきたい。

東部地域だけではなく、駅を活用して市全体の魅力を高めていくことが求められる。アンテナを高くし、これはすべきということがあれば、取り入れる用意はある。

**【質問】** 地元の方に、どうまちづくりにかわかってもらうか。

**【答弁】** 新駅設置に関心を持っていただき、地域のにぎわいを創出するソフト面でかわりを持っていただきたい。

**【質問】** 新駅周辺のまちづくりにどのくらい投資を見込むか。

**【答弁】** 新駅関連約49億円、倉西川約9億円のほか、道路等の整備も今後見込まれる。

## 防災

きまの会 八木正弘 議員（一括質問）

**【質問】** 防災対策の中に、防潮堤整備の早期実現を県に要望とあるが、内容を伺う。

**【答弁】** 県事に対し遠州灘沿岸市の連名により、海岸防潮堤や水門などの施設整備、遠州灘全域を考慮した防潮堤の築造等について要望した。

**【質問】** 掛川市は海岸防災林強化の整備に向け、26年度から

試験施工を開始する方針を固めたが、本市は考えているのか。また、防潮堤を第4次地震被害想定レベル2の津波高12mに対応するよう整備していくのか伺う。

**【答弁】** 本市も県と連携し、静岡モデル検討会での検討によるレベル2の津波高に対応した防潮堤整備の早期着工に向

けて準備を進めている。

**【質問】** 市南部地区の自治会には、高台（命山）に対し強い要望をもっているところもあると聞かすが、検討する考えは。

**【答弁】** 津波避難タワーの整備等により、津波避難空白地域は解消されている。現在、具体的な高台整備の要望はなく、整備する計画はないが、防災訓練などを通じ、既存の避難施設の使い勝手等を自治会と検証していきたい。

**【質問】** 多重防御対策として、150号バイパスの土積みを県に要望していく考えは。

**【答弁】** 県が塩新田橋南側交差

### JR磐田新駅設置／医療制度 市民要望の充実

日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員（二問一答）

#### JR新駅設置

**【質問】** 締結した基本協定書の具体的内容は。

**【答弁】** 第1条の基本計画のほか、開業予定時期、自由通路の都市計画決定、用地の取り扱いなど14条に及ぶ。

**【質問】** 総事業費49億円の具体的な内訳と財源は。

**【答弁】** 駅舎と自由通路を合わせた額で、詳細はJRと協議

点付近までを優先区間として整備しているが、かさ上げなどの多重防御対策は実施困難と聞いている。その先の区間については、できる限り防災に配慮した構造となるよう、粘り強く要望していきたい。

**【質問】** 磐田市聖苑への津波被害想定に対する検討結果は。

**【答弁】** 第4次被害想定の上で、深に基づき、火葬炉の機能が保全されるよう、浸水被害の防止策を検討していく。



を定め、検討していく。

**【質問】** 住民の意見や公募での駅名決定の考えは。

**【答弁】** 公募は考えていないが、地元の意見も伺いJRに提案していきたい。

#### 医療制度

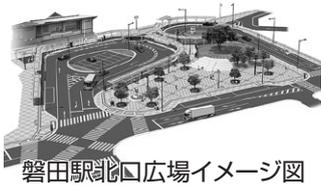
**【質問】** 看護師の労働実態と医療ミスの現状と課題は。

**【答弁】** 25年度、ヒヤリハットの件数は2631件、うち看護部門が2150件で全体の約82%を占めている。発生要因は、疲労ではなく単純ミスやコミュニケーションエラーが多く、チェック体制やコミュニケーション能力の向上が課題である。看護師の増員を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい環境づくりに努めたい。

#### 市民要望

**【質問】** 磐田駅北口広場整備計画の多目的ゾーンの具体的な内容は。

**【答弁】** 樹木とサークルベンチを配置し、イベント広場としても活用していきたい。



### 意見書を提出しました

中遠地域精神保健福祉会丹誠会会長鈴木恒夫さんより、意見書の提出を求める陳情書が提出され、審査の結果、採択し、左記のとおり関係機関に意見書を提出しました。

#### ◎重度障害者（児）医療費助成制度における精神障害者の適用改善に関する意見書（要旨） （静岡県知事あて）

精神障害者の病気の回復は必ずしも順調な過程をたどるものではなく、種々の原因で再発・悪化したときは入院を余儀なくされる。このような場合は一時的にも「精神疾患の重度状態」といつべきである。また、入院を経験するような状態の精神障害者のほとんどは就労が困難で、障害者年金程度の収入しかなく、とりわけ入院医療費の負担は障害者家庭に重くのしかかっているのが実情である。

これらを考慮すれば、静岡県の重度障害者（児）医療費助成制度においては、精神障害者手帳1級所持者に加え、2級及び3級手帳所持者の精神科入院医療費も対象に含めるよう制度を改めるべきと考えられる。加えて、障害者の自立と社会参加の促進の観点からも、身体障害、知的障害、精神障害等のそれぞれの実態を把握したうえで、それぞれの障害に配慮し、障害者福祉全般の充実を図ることを求めるものである。

磐田ろうあ協会会長村上正光さんより、意見書の提出を求める陳情書が提出され、審査の結果、採択し、左記のとおり関係機関に意見書を提出しました。

#### ◎「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書（要旨） （内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆・参議院議長あて）

手話とは、日本語を音声ではなく、手指や体の動き、顔の表情を使って伝達するもので、聴覚障害者にとって、日常生活を営む上で欠かせない情報獲得とコミュニケーションの手段として大切にされてきた。しかしながら、日本社会への手話の普及がなかなか進まない現状から、聴覚障害者が仕事や社会生活を行う上での課題は多く、手話で学べる大学などの環境も、ほとんど整備が進んでいない実情がある。

聴覚障害者の情報・コミュニケーション環境を改善していくためには、まず、手話が音声言語と対等の言語であることを明記することにも国民全体に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として研究・普及することのできる環境整備が必要である。

よって、国においては、上記の内容を盛り込んだ「手話言語法（仮称）」を早期に制定するよう強く要望する。

# 議会報告会を開催します

市議会は、市民に開かれた議会を目指して、議会報告会を開催しています。今年度は、会場数を6会場に増やしました。どの会場にもご参加いただけますので、お気軽にお出かけください。

**内容**

- ① 議会報告
- ② 参加者との意見交換



▲25年度の議会報告会

月日	時間	会場
10月25日(土)	午前10:00～ 午前11:30	竜洋コミュニティセンター (講習室1・2)
	午後1:30～ 午後3:00	福田農村環境改善センター (大会議室)
	午後5:00～ 午後6:30	見付公民館 (視聴覚室)
11月2日(日)	午前10:00～ 午前11:30	磐田市豊岡支所 (第1会議室)
	午後1:30～ 午後3:00	豊田農村環境改善センター (中研修室1・2)
	午後5:00～ 午後6:30	南公民館 [下岡田142-1] (講義室)

※10月25日(土)見付公民館では、手話通訳を行います。

## 9月定例会の予定

— 9月8日～10月15日(38日間)—

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局(電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845)までお問い合わせください。

- 9月 8日 本会議(先議議案の上程、説明)  
    予算委員会・常任委員会
- 9日 本会議(決算・一般議案等の上程、説明)
- 10日 予算委員会・常任委員会(審査予備日)
- 17日 本会議(先議議案の採決・一般質問)
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問予備日)
- 24日 本会議(議案に対する質疑)
- 25日 本会議(議案に対する質疑)  
    予算委員会
- 26日 決算特別委員会(一般会計)
- 29日 決算特別委員会(特別・企業会計)
- 30日 決算特別委員会(審査予備日)
- 10月 1日 分科会・常任委員会
- 2日 分科会・常任委員会
- 3日 分科会・常任委員会(審査予備日)
- 8日 予算委員会
- 15日 本会議(議案の採決)  
    ※いずれも午前10時から

## 審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 26年度一般会計補正予算(第2号)
- (2) スポーツ推進審議会条例の制定
- (3) 景観条例の制定
- (4) 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
- (5) 火災予防条例の一部改正
- (6) 土地の取得
- (7) 財産の譲渡
- (8) 財産の取得
- (9) 財産の取得
- (10) 普通河川倉西川改修工事委託に関する協定の締結
- (11) 26年度中東遠地域消防救急デジタル無線システム整備工事請負契約の締結
- (12) 人権擁護委員の候補者推薦の意見
- (13) 重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善に関する意見書
- (14) 「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書

■賛成多数により可決された議案

- (1) 市税条例等の一部改正  
※ この議案は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。  
賛成21(志・新・き・公)、反対3(共)

■賛成少数により否決された議案

- (1) 国民健康保険税条例の一部改正  
※ この議案は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。  
賛成3(共)、反対21(志・新・き・公)

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 農業委員会委員の推薦
- (2) 閉会中の継続調査
- (3) 市議会議員の派遣

会派名の表記(人数) ※26年7月10日現在  
「志」志政会(10)、「新」新磐田(7)、  
「共」日本共産党磐田市議団(3)、  
「き」きずなの会(3)、「公」公明党磐田(2)  
(注)議長は採決に加われません。

今定例会では、議会改革の一貫として、議員間討論を行いました。初めての試みでしたが、自由闊達な討議ができたのではないかと感じています。今後も、より市民に身近で分かりやすい議会を実現するため、さらなる議会改革に取り組んでいきます。

編集後記

佐 鈴 鈴 加  
藤 木 木 藤  
美 昭 喜 文  
枝 子 二 文 重

議会推薦の農業委員